

淀川水系流域委員会殿

2008.6.4

佐川克弘

ペーパーベース会議資料に関する件

前回の委員会の経験から会議をスムーズに進めるためにはペーパーの資料が不可欠だと感じたのは、傍聴者だけでなく委員各位も同じだったと思われます。他方、会議の経費を極力節減しなければならないのが現状です。

そこで提案があります。

それは資料代を徴収することです。徴収する対象は傍聴者はもちろん、委員各位も河川管理者も例外なしとしたらいかがですか。金額は1会議あたり500円程度が妥当ではないでしょうか。このことによって庶務の負担は増えますが、流域委員会を存続させるため協力していただきたいと考えます。

前向きに検討して下さることを切望します。

追って庶務は「仮称・会議資料特別会計」により収支を管理していただく必要があるのではないのでしょうか。

以上